

市長メッセージ（平成30年（2018年）7月1日）

『大阪北部地震を案じて』

6月18日、大阪府北部を震源とした地震が発生しました。亡くなられた方々へ心から哀悼の意を表し、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

都市部で災害が発生すると公共交通機関の途絶が深刻で、通勤、通学時間だったこともあり、駅や道路は混乱しました。23年前の阪神・淡路大震災はその状況が数か月続きましたが、今回はほぼ当日だけでした。週明けの月曜日だったこともあり、どうなることかと不安でいっぱいでした。市内でもエレベーター内に閉じ込められるなどの被害がありました。新聞記事によると、エレベーターは一定以上の強い揺れを感じると、最寄り階に止まって扉が開く装置の設置が2009年9月から義務付けられているとのこと。この装置が無い場合は全階のボタンを押して停止した階で降りる。万一、扉が開かなければ備え付けのインターホンで外部と連絡を取り、救助が来るまで待つことが大事だとのこと。無理にこじあげようとすれば体力の消耗を招くので、気をつけること。また、この度の地震で危険なブロック塀が身近にあることが明らかになりました。本市では地震の翌日から一斉に全市立学校園のブロック塀調査を行い、建築基準法に抵触するブロック塀の存在が確認された、美座小学校、末広小学校、丸橋小学校、高司中学校の4校について、既に対策を講じています。併せて市有地のブロック塀などで危険な箇所がないか各公共施設で調査中です。

今回の地震でも、屋内で、倒れたタンスや棚など家具に起因する犠牲者が出ましたが、この事態の深刻さを大震災で私たちは痛感しました。しかしあれから23年余。今一度室内の点検をお願いします。家具には転倒防止対策を、そして重い家具のそばでの寝起きは避けるように、ぜひ気をつけてください。日本中どこでもいつ何があるかわからない今日この頃です。決して他人事ではなく自らのこととして対応をしてくださいますようお願いいたします。

そして、この頃急増しているのが振り込め詐欺です。実に巧妙な手口で、しかも犯人グループは思わぬ手法で狙ってきます。切羽詰まった電話でお金を要求されても、とにかく落ちついて、警察、消費生活センターなどにすぐに連絡をお願いします。心穏やかに暮らしたいと願う昨今ですが、厄災はいつわが身にふりかかるか知れません。ひとりで抱えこまず“SOS”を発して皆で助け合いましょう。

さて、7月13日から16日まで世界中から囲碁ファン・プロ棋士がソリオホールに集い「ジャパン碁コンGRESS」が開かれます。注目は台湾、中国、韓国、日本のトップクラスの女流棋士によるトーナメントです。多くのメディアも注目し、生放送も予定されています。碁をしたことがない方でも楽しめるプログラムもあります。どうぞおでかけください。